

ひまわり職員のひとりごと

【第1話】大泣き!大暴れ!の子ども編

一見すると「子どものわがまま」「しつけのせい」などと誤解をされてしまう子どもの行動について、ひまわり発達相談センターの職員が「ひとりごと」として解説していきます。

ひまわり職員のひとりごと

スーパーのお菓子売り場などで、大の字にひっくり返って泣き叫んでいるあの子……。そばにいる保護者を見て、何もしていないように感じる人もいるかもしれません。



【お子さんの状況】

- ・泣き叫んで買ってもらえた体験を過去にしたことで、同じように期待して行動している可能性が考えられます。
- ・まだ言葉で表現できないなど、他の方法を身につけられていない状態かもしれません。

【保護者の状況】

- ・きつく叱っても、何度注意しても言うことを聞いてくれなかった過去の体験が重なり、精神的に追い詰められている状況があるとも考えられます。
- ・泣き叫んでいるときに声をかけると余計に刺激となり激しく続いてしまうことを知っていて、あえて声をかけず落ち着くのを待っている場合も考えられます。

「わかっているよ」「大丈夫だよ」とあたたかく見守ることは、お子さんとその家族を応援する力になるでしょう。

ひまわり心理判定員とネコ所長のつぶやき～その1～



ひまわり心理判定員

困ったことが起こるよりも前に、子どもと良いやりとり、良い関係を作っておくことが大切だと思います。

具体的には、日常の中で

- ・適切な方法で要求をしたら相手は応えてくれるという体験を、大人との関係を通して積み重ねていくこと
- ・できないことは叱らず、具体的にその子がわかる方法で伝えていくこと
- ・何気ないことや当たり前のことなど、できていることを認める、ほめること

もしスーパーなどで泣き叫ぶようなことになっても、何をすれば保護者から注目してもらえるか子どもがわかっているならば、困った行動に取り合わず、待っているうちに望ましいふるまいが見られるようになります。

(たとえば、普通に買い物に付き合ってくれているときに、そのこともほめてあげることで、困ったことをおきにくくできると思います。)

状況によっては、落ち着ける場所に移動して待つことが有効な場合もあるかもしれませんね。

保護者の立場としては、「すみません」との思いがありながら、周囲への対応まで余裕がない現状があると思うにや。

お子さんへの対応でも、すぐにうまくいくわけではないことも多く、徒労感が強かったりするにや。

こういう状況は理解されにくいと思うが、周囲の理解が必ず力になると思うにや!



ネコ所長

裏面に続く



ひまわり保育士

間違った成功体験をする「泣いたら抱っこしてくれた!たくさんお話してくれた!買ってもらえた!」という、より強く長く泣いたり、繰り返したりするようになりがちです。

でも、お出かけ先で大の字にひっくり返って泣き叫んだら…抱っこしたり注意しないわけにはいきませんよね。

お子さんは「どこに行って何をするか」「いつまでなのか」などの見通しが持てず、不安な状態にあることも考えられます。

スーパーに行く前に見通しが持てるように知らせることや、約束することができる成功体験の積み重ねにつながっていくのではないかと思います。

具体的には、

- ・「お菓子は日曜日に買いに行くから、今日は買わない日だよ」と家を出る前に話してみる
- ・「今日はスーパーに行って夕飯を買ったら、お家に帰るよ」とスケジュールを紙に書いたり写真を使って説明するなど、見てわかるものを取り入れると有効だにゃ!イラストを使いながら、カレンダーやお楽しみシールを組み合わせても楽しいかもにゃ!



ネコ所長



ひまわり保育士

子どもが適切な方法を身につけるまでは、どうしても時間がかかると思います。

一緒にお買い物に行かなければならないときもありますものね。



ネコ所長

- ・あとはちょっと大変だけど、時間をかけずに(子どもが我慢する時間を短くして)さっと買い物をすませて、少しずつ泣かないでお店から出られた時間を延ばしていくのも手だにゃ!
- ・始めは1個だけ買って、すぐにお店から出て思いっきりほめてあげる感じだにゃ!
- ・買い物リスト通りに自分でかごに入れたり、お仕事(役割)を作っておげたりするのもいいかもにゃ!

ひまわり発達相談センターでは、主に就学前のお子さまとその保護者(市内在住)を対象に、相談や指導を行っています。成長・発達に心配があるときは、お気軽にご相談ください。(電話またはFAXによる事前予約制です。)

住 所：習志野市秋津3-5-1
電話番号：047-451-2922

FAX番号：047-451-2002

